

事務事業名		佐野市認定農業者協議会運営事業(活動支援)					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	農業委員会	担当課	農業委員会
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農地調整係	担当課長名	墳本隆男	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 農地の有効利用					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8544	一般	6	1	1	佐野市認定農業者協議会運営事業(活動支援)					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H12年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業			
						任意的事業・義務的事業		任意的事業			
						実施方法		直営			
						事業分類		審議会・協議会等運営事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		該当なし			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
認定農業者協議会は、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者で組織しており、農業の実践的リーダーとして地域社会の維持発展、農業経営の改善や技術の高度化に努めることを目的としている認定農業者協議会の活動を支援している。		農業講演会(最近の農業を取り巻く状況について)の実施 視察研修、情報交換会、農業複式簿記帳指導会等						
認定農業者協議会とは、農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者で組織している。		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		研修会の開催回数	回	4	3	4		
		講演会等の開催回数	回	1	0	1		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
認定農業者協議会会員		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		認定農業者協議会会員数	人	109	106	110		
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
研修会、講演会を通して、 ・農業のリーダーとして地域農業の維持・発展に努める。 ・農業経営の改善や農業技術の高度化を実践する。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		研修会の参加者数	人	30	18	35		
		講演会等の参加者数	人	90	0	95		
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
利用集積を積極的に行ってもらおう。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		農地貸借面積(公社保有面積)	ha	1,081.6	1,131.7	1,050.0	1,100.0	1,150.0

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	220	220	200			
		事業費計(A)	千円	220	220	200	0	0	
事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
		負担金及び交付金	220	負担金及び交付金	220	負担金及び交付金	200		
人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3				
	のべ業務時間	時間	320	320	320				
	人件費計(B)	千円	1,245	1,261	1,261	0	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,465	1,481	1,461	0	0		

事務事業名	佐野市認定農業者協議会運営事業(活動支援)	担当部	農業委員会	担当課	農業委員会	担当係	農地調整係
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	効率的で安定した農業経営を目指す認定農業者による認定農業者協議会が平成12年に設立され、地域農業の発展を図るため協議会の運営を支援することとなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	農業者の高齢化や若者の農業離れが進んでおり、農業経営の改善・発展に取り組む認定農業者を支援することは、地域農業の発展には必要となってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	研修会・会議等の場を利用して認定農業者協議会の周知及び認定農業者制度のPRをし、会員数の増加を図る。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	農業のリーダーとして地域農業の発展及び農業技術の高度化に関する事務を展開し、担い手の育成確保を図っている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	高齢化や若者の農業離れにより、担い手不足は深刻化しているのが現実であり、これからの農業は、認定農業者を中心に農業振興を図ることが必要である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	意欲のある農業経営者である認定農業者を確保することが重要で、認定農業者で構成する協議会であるため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	認定農業者制度の周知を図り、加入者の増加を推進する。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	農業者の高齢化や後継者不足が深刻化しており、認定農業者を育成・確保することが重要であり、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	協議会会員の会費負担がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
認定農業者制度の廃止等により終了となる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 研修会・会議等の場を利用して認定農業者協議会の周知及び認定農業者制度のPRをし、会員数の増加を図る。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			